

認定理学療法士臨床認定カリキュラムのご案内

○認定理学療法士について

認定理学療法士とは、日本理学療法士協会が認定している資格制度で、理学療法士の専門性をより高めていくことを目的とした資格です。

現在、認定理学療法士の新規取得にあたっては以下の3つの要件が必須となっています。

① 指定研修カリキュラムの受講、②臨床カリキュラムの受講、③日本理学療法学会研修大会

その1要件として**②臨床カリキュラムの受講があり、全国各地に設置された教育機関で定められた講義を受講する必要があります。**

当院は日本理学療法士協会より「**脳卒中（東京都に7施設）**」領域の臨床認定カリキュラム教育機関として認定されています。



○開催概要

カリキュラムは必須科目、選択科目で構成され、全ての科目を履修することで修了要件を満たします。

オンデマンド形式（Google Classroom を使用予定）となります。

オンデマンド形式である為、視聴期間内であれば、ご都合の良い時間帯でご受講頂けます。

- スケジュール：2024年7月中旬～12月中旬まで開講予定
- 定員：30名
- 受講費：13,000円
- お申込み方法

下記の申込フォームより必要事項をご入力下さい。内容を確認後、入金手続きについてご案内致します。

また、登録理学療法士認定証の確認が必要となります。認定証の確認を後日登録メールアドレスにて行いますので、理学療法士協会マイページにて認定証をダウンロードしていただきご準備をお願い致します。

※登録理学療法士未取得での受講が確認された場合、受講者として認可できかねます。

【参考情報】登録理学療法士認定証の出力方法

「マイページへログイン」→「生涯学習管理」→「修了証・認定証出力」→

「登録理学療法士認定証を選択」→「出力する」

【URL】申込フォーム

<https://forms.gle/2JRG85BdJrZo66KP8>

QRコードからもお申し込み可能です➡



- ✓ 受講は、登録理学療法士取得者に限ります。
- ✓ 入金後のキャンセルは、いかなる場合もお受けできませんのでご注意ください。
- ✓ 登録理学療法士認定証の確認は、カリキュラム参加、日本理学療法士協会への履修報告に際して必要であり、これ以外の目的では使用致しません。

■お問い合わせ

医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院

リハビリテーション部 理学療法士 平澤津 隼人

TEL:[03-5851-1108](tel:03-5851-1108)

メール : h_hirasawatsu@sonodakai.or.jp

竹の塚脳神経リハビリテーション病院

認定理学療法士（脳卒中） 臨床認定カリキュラム一覧

内容		講師
講義1	正常な構造・機能と疾病の基礎	宮上 光祐 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 医師)
講義2	医学的診断と治療介入	宮上 光祐 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 医師)
講義3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	平澤津 隼人 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	石井 千佳 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義5	脳卒中後の運動機能障害に対する理学療法	三橋 陽平 (湖街ホスピタル 理学療法士)
講義6	脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法	福岡 宏之 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義7	脳卒中後の活動・参加制限に対する理学療法	吉田 さつき (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義8	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法	鈴木 陸也 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義9	機能回復と日常生活活動自立に向けた回復期理学療法	桑原 希望 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義10	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	小松 史 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義11	終末期における理学療法	池田 聡 (日本医科大学付属病院 医師)
講義12	自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用	内藤 進太郎 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義13	発症予防、重症化予防、再発予防	池田 聡 (日本医科大学付属病院 医師)
講義14	患者・家族教育の意義とその方法	山崎 郁美 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義15	社会資源の活用	川南 綾子 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 社会福祉士)
講義16	11-1.疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編1) (脳画像評価の実際)	鈴木 陸也 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義17	11-2.疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編2) (リスク管理の実際)	平澤津 隼人 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義18	11-3.疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編3) (歩行再建の実際)	福岡 宏之 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義19	11-5.疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編5) (装具療法の実際)	小松 史 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)
講義20	11-8.疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編8) (予後予測の実際)	鈴木 達矢 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院 理学療法士)